

歌集「徒然に生きる」より

平成27年春詠 作

「雪」

色あせし絵とも見紛う冬ざれの
洛北野辺に白雪が舞う



「桜」



この年の花を待たずに友逝きぬ
我れ生かされて花並木ゆく

一炊の夢にも似たる人の世に
あと幾たびの桜吹雪か

「若き日の夢」

シャンゼリゼ春陽に映える白と黒

魅せられ歩む若き日遙けし



(昭28年色染 西川三郎)